



かがやけ憲法

キャラバンニュース

- ★北海道→青森→岩手→秋田→山形→宮城→福島→新潟→群馬→栃木→茨城→千葉→埼玉
- ★山口→広島→島根→鳥取→岡山→香川→愛媛→高知→徳島→三重→岐阜→愛知→静岡→神奈川→東京
- ★鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→大分→宮崎→兵庫→大阪→和歌山→奈良→京都→滋賀★
- ★福井→石川→富山→長野→山梨
- ★沖縄★

政府のやり方はファシズムそのもの

秘密保護法の参院採決強行するな!

●12/2 静岡

静岡市、静岡県に要請

12月2日、静岡市に入った「かがやけ憲法キャラバン」は、冷たい風が頬を打つ中、静岡県庁、静岡市役所前での宣伝行動からスタート。静岡県評、静岡地域労連、静岡市職、生協しずおか労組などの仲間が参加し、特定秘密保護法廃案、安倍「雇用改革」反対などを訴えました。

静岡県評・林議長は、自民党・石破幹事長が特定秘密保護法案廃止を求めるデモや宣伝行為に対し、「テロ行為と変わらない」とブログに書き込んだことに「とんでもない発言だ。原発反対のデモもテロ行為となるのか!」と怒りを露わにし、「廃案に向け一緒に声を上げましょう」と呼びかけました。

静岡地区労連の松川議長（静岡市職委員長）は、憲法前文や99条、97条などを読み上げ、「世界に誇れる憲法を改めて読み返して欲しい」とのべました。

全労連・井上久事務局次長は、国会の状況などの情勢を紹介しながら、秘密保護法案、安倍「雇用改革」の問題点を指摘し、「憲法をいかし、平和とくらしを守るために声をあげよう」と、登庁する人々に訴えました。

宣伝後、静岡市長と静岡県知事に対して、「憲法をいかし、くらしと雇用、平和を守る課題」での要請行動を実施。議会本会議開会中ということで、市では大長秘書課長(写真)、県では鈴木労働政策課課長補佐に対する要請趣旨の説明程度となりました。

要請を終え、正午からは静岡駅前の繁華街で宣伝を行ない、静岡高教組の仲間も加わり16人が参加。「秘密保護法は国民の権利を踏みとじるものだ。政府が『知る権利に配慮する』などおこがましい。





もともと私たちに保障された権利だ」（静岡高教組・木藤委員長）など訴えが続きしました。準備した「秘密保護法案反対」「ブラック企業根絶」チラシ入のティッシュは時間を待たずになくなり、風船も好意的に受け取られました。

沼津に向け宣伝カーを走らせ、15時半から沼津駅前沼津地域労連の仲間が合流し宣伝を実施しました。秘密保護法案に対する関心が高く多くの人がビラを受け取りました。ビラを受け取った60代の男性からは、「私は元教員だからこの法案の恐ろしさが良くわかる。マスコミはもっと危険性を報道してほしい。がんばって

廃案にしましょう」と激励の声が寄せられました。

沼津での宣伝を終えたキャラバンカーは、箱根路を小田原に向けて走り出しました。

●12/3～4 神奈川

23 駅頭で宣伝 横浜駅では弁護士加わり 2 時間宣伝

国民が監視される秘密保護法は廃案に

神奈川での「かがやけ憲法キャラバン」行動は、12月3、4日の両日、西湘・湘南コース、川崎コース、横須賀・三浦コース、横浜市内コースなどに分かれ、県内23駅頭を中心に「憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう」、「特定秘密保護法案を廃案にしよう」と大宣伝行動を展開しました。

「天下の険」箱根を越え神奈川に入ったキャラバン隊は、3日、西湘・湘南コースをまわりました。朝8時から行った小田原駅前宣伝には、地元・西湘労連の仲間など19人が参加し、通勤・通学途上の人たちに訴えました。神奈川労連の水谷議長は「中身が曖昧で、国民一人ひとりが監視される秘密保護法は廃案にしなければならない。声を上げていこう」と呼びかけました。その後、小田原市役所前、平塚駅前、茅ヶ崎駅前、藤沢駅前での宣伝を行いました。

マイクを握った弁士からは、「消費税増税に年金削減、社会保障を改悪し、秘密保護法など安倍政権は国民を見ていない」（西湘労連・山口議長）、「ナチスドイツは全権委任法でワイマール憲法を実質改憲し戦争へと突き進んだ。今の政府のやり方は当時のナチスと本質的には同じだ」（神奈川労連・山下事務局次長）、「消費税増税をすれば中小零細企業は価格転嫁出来ずに廃業に追い込まれる。1997年の増税時の状況を見れば明らかだ」（神奈川自治労連・小原副委員長）など暴走する安倍内閣に対する批判が次々と述べられ、「世界に誇る憲法をいかし、国民のための政策を実現させよう」と訴えました。



4日は、横須賀駅前、逗子駅前、鎌倉駅前(写真)で、「憲法キャラバンチラシ」と「秘密保護法反対国会議員 FAX 要請書」をセットで配布し「みんなの声で秘密保護法を廃案に追い込もう」と訴えました。

どの駅前でもビラの受け取りは良く、「秘密保護法が成立してしまったらものが言えなくなってしまう。参議院選挙で自民党を大勝させてしまったのは間違いだった」、「この法案が成立したら怖いことになる」など賛同の声が寄せられました。

日も落ち、各コースで宣伝をした仲間が、横浜駅西口と本厚木駅前に結集。横浜駅西口では 17 時から 2 時間の
の大宣伝を実施。自由法曹団や民主団体、個人も加わり「秘密保護法案廃止を」と呼びかけました。

自由法曹団・神奈川県支部から森弁護士、小賀坂弁護士らが発言。日本弁護士連合会をはじめ、全国すべての
弁護士会が秘密保護法案反対の声明を出していることを述べ、「知らずに特定秘密に触れてしまい捕まり裁判に
なっても、法廷にも特定秘密が公開されない。弁護士もなぜ捕まったか分からなければ弁護の仕様が
ない。暗黒裁判になってしまう」、「憲法の基本理念である国民主権、民主主義を根本から覆すものだ」と訴えました。

参加者は帰宅途上の人々に「廃案に追い込むためにみなさんの声を国会に届けてほしい」と呼びかけ、次々と
ビラを配布しました。

●12/4 長野(2日目)

南牧村・菊池村長「秘密保護法は廃案しかない」

川上村副村長「社協は全員が正規。臨時職員はいない」

長野では、12月6日に労働組合の上部団体の枠を超えて、長野駅前で秘密保護法の集会を開催します。12月
中旬には、労働法制と一緒に集会を開催します。

12月4日、長野での2日目の行動は、上田駅前で宣伝でスタートし、オルガン針労組委員長と懇談しまし
た。佐久平に移動し、イオン前で宣伝行動を行いました。風船やティッシュを配布、買い物帰りの人たちから、
「頑張ってください」「こうやって声を出す事が大事よね」と声をかけられました。佐久地区労連は、憲法キャラバ
ンをきっかけに、地区労連内の全自治体訪問に取り組むことにしています。

南牧村では菊池幸彦村長と懇談。6日は議会開会日。村
長は冒頭で「特定秘密保護法案は廃案しかない」と述べ、特
定秘密保護法案の継続審議を求める意見書案が採択されま
した。

菊池村長は、「スーパーが撤退し、買い物難民となる方た
ちがでました。それを改善するため福祉バスを走らせ、病
院や買い物に行けるようしました。南牧村は農業と観光の
村、人間の住みかとして最高です。自給出来る地方農村の
田んぼを荒らしてしまったら、米はなかなか作れない。私
は夢と希望を住民に伝え、地方を守り住民の福祉を守って
いく。TPP・道州制も反対です」と話しました。



川上村では副村長と懇談。副村長は、「川上村は、人口 4100 人で農家が 500~600 戸あり、レタスで有名です。
ほとんどの農家は後継者がいますが嫁不足は深刻。村は平穏で、村民の気持ちは穏やか。今年は中国・インドネ
シア・フィリピンからの外国人研修生 800 人を受け入れました。冬は仕事が無いので半年で契約が切れるため、
村の中に民間の受け入れ機関がいくつかあります。介護では、全戸を把握しているので民生委員がものすごく忙
しい。社協の運営は毎年赤字ですが、労働条件が悪いと人が来ないので全員正規で臨時職員はいません。質も違
ってきます。村の広さから、移動の距離が長く効率が悪い。農業が忙しいから自宅での介護は難しい」と村の現
状について話しました。

●12/5 東京(1日目)

憲法キャラバン東京へ

新橋駅頭で「秘密保護法廃案に」と訴え

10月29日からスタートし、全国で「憲法いかせ」の共同・共感を大きく広げてきたキャラバンは、12月4日、東京での集結行動を迎えました。

参議院で審議されている特定秘密保護法案の問題点が明らかになるにつれ、不安や反対の意見が急速に広がっています。衆議院での与党による強行採決、自民党の石破幹事長が自身のブロックで、平和的なデモをテロと同一視する趣旨の投稿をするなど、民主主義や憲法が定める基本的人権をないがしろにする与党の横暴に、市民・各界著名人から怒りの声が湧き上がり、全国で連日大規模な集会やデモなどが行われています。

早朝8時、東京労連と全労連の共同で秘密保護法案の廃案、安倍「雇用改革」反対などを訴える宣伝行動を新橋駅前のSL広場で行い、約30人が参加しました。まだ日が届かないビルの谷間を出勤する人々が行きかくなか、宣伝カーから「秘密保護法案は廃案しかない」などと訴えると、寒さでポケットに入れた手を差し出しチラシを次々と受け取り、1時間で約800枚を配布しました。

全労連の小田川事務局長は「今日にも秘密保護法案の採決が強行されようとしている。自ら国会に足を運び、FAX、メール、ツイッターなど皆さんができる手段で反対の声を届ける行動を今すぐ起こしてほしい。すでに国家安全保障会議設置法が成立し、戦争する国への準備が進められている。国民へまともな説明がないまま国外で攻撃能力をもった自衛隊が活動する既成事実を重ねようとしている」と警鐘を鳴らしました。



東京労連の伊藤議長は「安倍政権は国民の目、耳、口をふさぎ、戦争する国への道を突き進もうとしている。子や孫たちに暗黒社会をわたさないために、必ず廃案にしよう」と呼びかけました(写真・下)。

国公労連の鎌田書記長は国家公務員の立場から「国家公務員の守秘義務に関する罰則は法令ですすでにあり機能している。新たな法律は必要ない。公益のための内部告発やその立証も困難になり、公務員への適正評価で常に監視され政府の都合のいい公務員だけが選別される。また、秘密の対象とされる原発や軍事産業で働く労働者の権利や安全が脅かされる」などと問題点を指摘しました。

都教組の工藤委員長は、誤った教育で若者を多く戦場に送り出した歴史に触れ、「再び教え子を戦場に送らないために平和教育に奮闘してきた。その支えとなるのが憲法。安倍首相は憲法を改正しなくても戦争できるように何が何でも法案を通そうとしている」と怒りを込めました。

JMIUの三木書記長は「政府のやり方はファシズムそのもの。政府・与党に反対するデモをテロと同一視していることから法案の問題が表れている。安倍首相は戦争する国づくりだけでなく、日本IBMが行っているロックアウト解雇を合法化し、日本を総ブラック企業化する解雇の金銭解決ルールをつくらうとしている。これを絶対に許してはいけない」と呼びかけました。

全労連の井上事務局次長は、キャラバンで懇談した各地の経済団体から出された「安倍首相の経済政策はまるで別世界の話のようだ」「一部の大企業が潤っても地方には意味がない」などの声を紹介。「成長戦略というが、秘密保護法がまかり通る民主主義が死んだ国に世界が投資するはずがない。みんなで今一度憲法を読み、現実のものにしていこう」と訴えました。

明日6日には、昼にキャラバン終結集会、夕方には秘密保護法に反対する宣伝行動を都内で行います。

★★★かがやけ憲法キャラバン 12・6 集結行動★★★

- 12:00～13:00 秘密保護法反対・かがやけ憲法 12・6 国会行動
場所・参院議員会館前(憲法会議呼びかけの行動に合流)
- 13:30～14:45 かがやけ憲法キャラバン集結集会
会場：ハロー貸会議室永田町
千代田区平河町 2-16-9 平河町 KD ビル 3F
- 15:30～16:30 秘密保護法反対・かがやけ憲法 12・6 街頭宣伝行動
場所：有楽町マリオン前

◆秘密保護法廃案へ 12・6 大集会 18時30分開会 日比谷野音
国会請願デモ、銀座デモ



かがやけ 憲法

全国縦断キャラバン2013